

研究課題名	検診におけるピロリ菌感染症の現状の評価
研究の意義・目的	ピロリ菌は既知の胃がんのリスク因子です。今回当施設受診者におけるピロリ菌の感染状況および、ピロリ菌による胃炎の評価、ピロリ菌感染による各種検診データに対する影響を検討することにより、大阪におけるピロリ菌の現状を明らかにできると想定しています。
研究を行う期間	倫理審査委員会承認後～2025年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016年7月1日～2025年3月31日の期間に大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部附属クリニック MedCity21 において健診を受診もしくはピロリ菌検査を受診した受診者が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 上部消化管内視鏡時の観察記録および、その際の状況についての診療録、看護記録(患者酸素飽和度、血圧、検査時間診情報等) 2 患者基本情報:年齢、性別、現病名、問診調査(現病歴、既往歴、家族歴、内服歴、喫煙歴、運動習慣、食事習慣、睡眠習慣等) 3 血液検査結果:健診・人間ドック一般検査結果(血算、肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、電解質、尿酸、腫瘍マーカー、ホルモン検査、アディポカイン、炎症マーカー、抗ピロリ抗体濃度、便中ピロリ抗原、尿素呼気試験、尿検査所見等) 4 生理学的検査:身長、体重、BMI、体組成、心電図、呼吸機能検査、認知機能等 5 画像検査結果:腹部エコー検査、腹部 CT(内臓・皮下脂肪面積)、胸部 CT 検査、上部消化管内視鏡および造影検査、マンモグラフィー、乳腺エコー検査、頭部 MRI/MRA 検査の診断レポートおよび画像など 6 機能検査結果:動脈硬化検査(超音波法による頸動脈内膜中膜複合体肥厚(IMT),脈波伝播速度(PWV),内皮依存性血管拡張反応(FMD)),骨代謝関連検査(DEXA 法による腰椎・大腿骨骨密度)、Fibroscan 装置による定量的肝内脂肪蓄積度(CAP 値)等
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療学、消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療学、消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 研究責任者 灘谷 祐二
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪市立大学大学院医学研究科 先端予防医療学</p> <p>(担当者氏名) 灘谷 祐二</p> <p>MedCity21 人間ドック・健診エリア(電話番号:06-6624-4010)</p> <p>メールアドレス:dada@med.osaka-cu.ac.jp</p>